

喘息ニュース 9月号

発行 西淀病院・のぞと診療所
喘息グループ

9月に入り、だいぶ暑さも落ち着いてきた・・・かな？
昼間はまだまだ暑いので、体調管理はしっかりしましょう！



☆今回はコントローラーとレリーバーについてみていきましょう

喘息の薬は目的によって二つに大きく分けられます。



コントローラー(長期管理薬)



発作などの**症状があってもなくても、毎日使う薬です**。発作が出てこないように

予防するために用います。効果がでるまでに時間がかかることもあります。

よく使う薬 ⇒ステロイド薬：主に吸入薬カナルド など、飲み薬もあり
長時間作用型 β_2 刺激薬：吸入セレベントなど
抗アレルギー薬：シングレアなど、その他



レジーバー(発作治療薬)



■発作時にのみ使用



■即効性ですぐ効果があらわれる



■吸入回数、分量はしっかり守る

発作のときや、**発作が起こりそうなときにだけ**使います。

早く効きますが、効果はあまり長くありません。

繰り返し使っても**良くならないときは必ず病院にいきましょう。**



よく使う薬⇒短時間作用型 β_2 刺激薬：吸入サルタノール・メプチンエアー・ベロテックなど
ステロイド薬：飲み薬プレドニン、注射薬など、
テオフィリン薬：飲み薬テオドールなど、注射剤ネオフィリンなど



レジーバー（発作治療薬）はすぐに自覚症状を改善してくれますが、喘息の原因である気管支の炎症をなおしてくれるわけではありません。

気管支の炎症はコントローラー（長期管理薬）で少しずつ治療していかないと、一次的に症状がなくなったように思えても、少しの刺激で大きな発作を起しかねません。

ここがポイント！

レジーバーだけに頼らないこと。

コントローラーを勝手にやめないこと。

